様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	各市場での誘客プロモーションの展開		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
欧米やシンガポール、タイ、マレーシアなどの東南アジア、台湾、中国本土、韓国、香港から外国人観光客を誘客することを目的に、旅行博への出展や商談会開催、各市場特性に応じたプロモーションを展開する。	県	航空路線拡充の支援、Be.Okinawaブランディング、各市場でのプロモーション等の実施		
		プロモーション実施地域数		
		14箇所	14箇所	14箇所

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄観光グローバル事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	643,185	550,134

予算事業名	沖縄観光グローバル事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	576,323

令和6年度活動内容

14箇所の地域において、プロモーションを実施した。

令和7年度活動計画

11箇所の地域において、プロモーションを実施する。

活動指標名	プロモーション実施地域数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		海外11市場において、旅行博・現地イベント、商談会、旅行会社・メディア招聘、航空会社および旅行会社タイアッププロモーションを市場プロモーション等を実施した。
	15箇所	15箇所	11箇所	14箇所	78.6%	概ね順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
委託事業者及び沖縄県海外事務所、沖縄観光レップ（英、仏、独、豪）と連携を図りながら、国際線の路線回復に向けた取組とともに海外観光客誘客プロモーション活動を実施し、目標14箇所に対し11箇所の地域でプロモーションを実施することができ、進捗状況としては概ね順調となった。令和６年度は那覇空港国際線の回復が進み、運航状況は13路線22社運航となった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○県内観光施設や事業者とともに誘客プロモーションにおける連携を進め、沖縄へのインバウンド誘客拡大を推進する。 ○航空会社や旅行会社に対するプロモーションを強化し、新たな需要の創出と国際航空路線の増加につなげる。	○那覇空港国際線の再開および路線回復により、令和6年暦年の外国人入域観光客数は184万5,700人となった。 ○台湾市場では台中－那覇路線のほか、韓国市場では仁川－新石垣空港や下地島空港への離島路線が再開した。同時期に韓国で開幕したトラベルフェアでは県内事業者と出展し現地で同路線をＰＲし、順調な送客へとつながっている。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	本県の令和６年度の外国人入域観光客については、コロナ禍後の定期便路線の復活、新規路線の就航のほか、好調なクルーズ市場を背景に増加傾向が続いている。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	令和６年度の日本の訪日観光客数は過去最高の3,687万人を記録した。政府は2030年には6,000万人の入域観光客を目標としており、市場全体の動きから本県への訪日観光客数の増加が見込まれる。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
② 連携の強化・改善	路線を有している市場については、航空会社との連携をとおして新規定期便の運航を目的にした施策を実施するほか、そのほかの市場についてはブランディングを推進し、認知度向上に取り組む。
⑥ 変化に対応した取組の改善	各国の現地旅行会社やメディア等とのネットワークを活かし、沖縄の歴史や文化、長寿等に関する現地イベントや高付加価値化商品造成に向けた取り組みを実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	MICE誘致の実施（コンベンション）		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内大学等と連携し、国内学会や国際会議の誘致・開催支援を行う。	県,OCVB	国際会議の誘致		
		国際会議件数(累計)		
		3件	12件(15件)	26件(41件)

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課　【　098-866-2077　】	関連URL	https://www.ocvb.or.jp/support/category:9

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	198,303	191,524

令和6年度活動内容

県内・県外大学などローカルホストへのサポート等も実施のうえ、引き続き国内・国際学会等の開催に対して、貸切バスや開催歓迎等の支援を実施する。

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	212,613

令和7年度活動計画

県内・県外大学などローカルホストへのサポート等も実施のうえ、引き続き国内・国際学会等の開催に対して、貸切バスや開催歓迎等の支援を実施する。

活動指標名	国際会議件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		大学などローカルホストへのサポート、学会、FAMツアー、コンベンション専門商談会への出展等を行った。
	9件（13件）	4件（17件）	（R5年度）	26件（41件）	15.4%	大幅遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
R6年度実績値については、集計中のため、R5年度実績値を暫定入力。R6年度は、コンベンション主催者に対してMICE貸切バス等運行支援を14件、コンベンション開催支援27件実施した他、旅行者、PCO、MICE関連団体、大学教授等キーパーソンに対して、直接訪問に加え、オンラインコミュニケーションツールを活用して営業活動を行った。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　国内外の学会主催者、PCO等への営業強化を目指し、大学等への定期的な訪問を行う。 ○　バス事業者、関係機関と意見交換を行い、オフシーズンへの誘導等について検討する。	各学会への営業活動（訪問・Eメールでのアプローチ、会場提案・費用算出等の提案書提出）を行った。（アプローチメール数1,053件、提案書提出および営業学会数46案件、在京PCOへの継続営業25社）。 オフシーズンへ誘導するためにオフシーズンでのおもてなし支援を強化した。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	支援条件を満たしていながら、拾いきれなかった催事があった。支援内容等の周知を強化する必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	コンベンション開催支援を広く周知することで、これまで拾いきれなかった催事についても支援し、沖縄のMICE開催地としての満足度向上に努める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○誘客活動の推進、MICEやスポーツコンベンション等の誘致
主な取組	スポーツコンベンション誘致戦略推進		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・観光交流については、アジア諸国や欧米を中心に誘客活動を推進するほか、太平洋・島サミットなど沖縄開催の意義を示すことができる分野のMICEやスポーツコンベンション等の積極的な誘致に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国際大会誘致やアジア等で開催される大会の事前合宿を視野にスポーツコンベンションの誘致を進めるため、受入市町村と連携し、スポーツキーパーソンの招聘や合宿実証に取り組む。	県,市町村,スポーツコミッション沖縄	スポーツコンベンションの誘致		
		スポーツ団体合宿実証件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部スポーツ振興課　【　098-866-2708　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況

（単位：千円）

予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	50,838	60,152

予算事業名	スポーツコンベンション誘致戦略推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	61,870

令和6年度活動内容

スポーツコンベンション誘致広報活動に合わせ、スポーツキーパーソン招聘およびスポーツ団体合宿実証に取り組んだ。

令和7年度活動計画

スポーツキーパーソン招聘、スポーツ団体合宿実証、大会形式のスポーツコンベンション誘致および合宿・キャンプ受入れの社会的効果算出に取り組む

活動指標名	スポーツ団体合宿実証件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		スポーツキーパーソン招聘やスポーツ団体合宿実証を通して、合宿実施における課題を検証し、合宿受入体制の強化を図った。
	9件	13件（22件）	12件（34件）	10件（30件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

合宿受入市町村等と連携し、目標を上回る合宿実証を実施した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
受入市町村や関係機関との意見交換を重ね、アーバンスポーツの合宿誘致、医療やウェルネスと連携したメンタルおよびフィジカルリカバリーの体制構築を図る。	アーバンスポーツ施設の視察および意見交換のほか、スポーツコミッション多角化推進事業と連携し、本県での合宿開催の付加価値向上のため、医・科学的サポート（トレーナー派遣・スポーツ科学測定等）に取り組んだ。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	スポーツ科学測定については測定から得られる効果などをチームにイメージしてもらうことが難しく、ニーズ拡大につなげるのが困難であった。
⑦ その他(改善余地の検証等)	アーバンスポーツ誘致のためには、施設整備も重要だが、人口の多い東京でも施設運営は厳しいため、沖縄で整備を検討している市町村の情報収集（情報共有）を図る必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	合宿実証との連携による「スポーツ科学測定ツアー」として、まずは体験し効果を実感してもらえるような取組を検討する。
⑧ その他	合宿がもたらす地域への影響として社会的効果が注目されており、各市町村の課題・状況に応じた受入れ競技の可能性を検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進
主な取組	海外友好姉妹都市等からの留学生受入		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU（連携覚書）締結など地域間交流を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
海外県系子弟と沖縄県の青少年が互いに交流、研鑽する場を設けることにより、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	海外友好姉妹都市等から留学生を受け入れ、県内大学や企業等で就学・研修等の実施		
		海外友好姉妹都市からの留学生受入人数（累計）		
		２人	２人（４人）	２人（６人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の１つ		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	71,392	83,467

令和6年度活動内容

ウチナーンチュ等子弟留学生を10名（うち、海外友好姉妹都市から３名）程度を受け入れ、県内大学や研修機関で留学させた。

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーンチュ子弟等留学生受入業務）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	43,444

令和7年度活動計画

ウチナーンチュ等子弟留学生を10名（うち、海外友好姉妹都市から３名）程度を受け入れ、県内大学や研修機関で留学させる。

活動指標名	海外友好姉妹都市からの留学生受入人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		フランス、韓国、ペルー、台湾、ブラジル、オーストラリア、ハワイ（アメリカ）、ボリビア、アメリカ本国から留学生を受け入れ、県内大学等で研修させた。
	1人	3人（４人）	3人（７人）	２人（６人）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
友好姉妹都市であるブラジル・マットグロッソ州（カンポグランデ市）、ボリビア・サンタクルス州、アメリカ・ハワイ州から各１名、計３名を受け入れ、目標値を達成した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	留学生と県内外の若者どうしの交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化につながった。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	大学や伝統芸能習得機関での就学・研修のみならず、留学生の主体性を促す必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	大学・伝統芸能習得機関外での研修を多く取り入れ、幅広い世代とつながる機会を設けるとともに、交流を通じて留学生の主体性を高める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施 策	①観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○姉妹提携等に基づく交流、地域間交流の促進
主な取組	沖縄県・市町村国際交流連絡会議の実施		対応する成果指標	MICE開催件数
施策の方向	・東アジアの中心に位置する地理的特性、自然的特性、独自の歴史的・文化的特性等を生かし、学術・文化・友好親善など様々な分野での国際交流を推進するため、福建省との友好県省やハワイ等との姉妹提携等に基づく交流を促進し、また、海外との新たなMOU（連携覚書）締結など地域間交流を促進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
各市町村、関係機関、沖縄県の連絡協議会を年1回以上実施し、各自治体における国際交流事業等について情報共有と意見交換を行う。	県,市町村	海外との交流を促進するため、県と市町村間の情報交換、意見交換の実施		
		沖縄県・市町村国際交流連絡会議の開催回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	世界のウチナーネットワーク強化推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	直接実施	41,947の一部	33,357の一部

令和6年度活動内容

各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行った。

予算事業名	世界のウチナーネットワーク強化推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	直接実施	35,994の一部

令和7年度活動計画

各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行う。

活動指標名	沖縄県・市町村国際交流連絡会議の開催回数（累計）					進捗状況	活動概要
			R6年度				
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		各市町村、関係機関と10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組や、各自治体で予定している国際交流事業等について意見交換を行った。
	1回	1回（２回）	1回（３回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

オンラインと会場のハイブリッド形式で会議を実施した結果、18の市町村（関係機関含め25名）の参加があった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
県と市町村でより気軽に意見交換ができるよう、対面での実施を検討する。	オンラインと会場のハイブリッド形式で会議を実施した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	10/30世界のウチナーンチュの日に関する取組を行っている自治体が県内全市町村に達していない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	県・市町村連絡会議を昨年同様早めに開催し、10/30世界のウチナーンチュの日に間に合うよう、すでに取組を行っている市町村の事例を紹介してもらう。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施　策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップに関する取組		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・文化は交流により育まれ、互いの文化を理解し合うことにより発展するため、国際的な文化交流イベントから草の根レベルの交流活動まで幅広い取組の強化を図ります。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県内施設からの要請を受け、伝統芸能団体を派遣する。	県	文化資源を活用した体験プログラムの構築・実施		
		文化体験プログラムの実施回数（累計）		
		10回	10回（20回）	10回（30回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,340	17,100

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	15,444

令和6年度活動内容

事業登録した文化団体が、宿泊施設等の要望を踏まえたプログラムを提案し、宿泊施設等と連携した文化体験プログラムを実施した。

令和7年度活動計画

事業登録した文化団体が、宿泊施設等の要望を踏まえたプログラムを提案し、宿泊施設等と連携した文化体験プログラムを実施する。

活動指標名	文化体験プログラムの実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		事業登録した文化団体が、宿泊施設等の要望を踏まえたプログラムを提案し、宿泊施設等と連携した文化体験プログラムを実施した。
	6回	4回（10回）	11回（21回）	10回（30回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

R6年度は文化体験プログラムの実施回数10回を目標値としていたが、11回実施し、目標値を超えているため「順調」と判定する。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業周知時期を早め、周知先も増加させるほか、文化団体の派遣報酬額を見直す等により、文化資源を活用したプログラムモデルの構築を目指す。	○派遣報酬の見直しや、事業周知の強化を行い派遣回数が前年と比べ増加した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	事業の周知先の数や派遣する文化団体の候補数も改善余地がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	事業周知先を増加させるほか、登録団体の募集を強化することで派遣する文化団体の候補を増やす。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施　策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策の効果的な推進
主な取組	琉球歴史文化の日周知啓発推進事業（歴史・文化ワークショップ）		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・県民が沖縄の歴史及び文化への理解を深めるための施策を効果的に推進し、沖縄の文化の継承と発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
歴史・文化に関するワークショップを実施する。	県,市町村,民間団体	歴史・文化ワークショップ等の実施		
		歴史・文化ワークショップ等への参加者数（累計）		
		60名	60名（120名）	60名（180名）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	17,752	82,425

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318

令和6年度活動内容

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。

令和7年度活動計画

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。

活動指標名	歴史・文化ワークショップ等への参加者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した
	60名	50名（110名）	303名（413名）	60名（180名）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内各地の学校から少数名の生徒を招待してワークショップを行うのではなく、学校に赴いて多数の在籍児童相手に実施したことにより、参加児童者数が増加した。県民の沖縄の歴史と文化への理解が深まった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○引き続きワークショップ等を実施し参加者数を子どもと保護者の両方を集計する。また、情報発信を強化していく。	○ワークショップ等を実施し、子どもと保護者の両方を集計した。 ○情報発信の時期を早めることで、学校の年間予定計画に組込みやすくした。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	開催する学校の規模や場所については、より効果的な方法を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	引き続き学校単位や学年単位の生徒に対してワークショップを実施する。場所についてはより多くの生徒が参加できるよう検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施 策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
多様で豊かな沖縄文化資源を発信し、観光誘客を図る。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,056	5,640

令和6年度活動内容

京都府において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努めた。

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318

令和7年度活動計画

神奈川県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。

活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県外における組踊ワークショップの開催及び琉球舞踊等を上演した。
	1公演	3公演（４公演）	1公演（５公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
公演前のワークショップにて組踊の歴史解説、楽器・小道具を行った他、琉球舞踊等の上演により沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチができた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
〇公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 〇開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 〇メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	開催地、京都府の文化団体である京都芸術劇場　春秋座　studio21と共同で公演を行うことにより、京都芸術劇場　春秋座　studio21のファン層の集客につながった。 また、春秋座HPに記者懇親会レポートを掲載する等、来場することができない方へも沖縄の伝統芸能の魅力を発信した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県外公演の周知は委託先が担ってくれたが、それだけでは周知する層に偏りが生じてしまう可能性がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	県外公演の周知について、委託先だけではなく、 県からも関係団体や公共団体に周知をすることで認知度の向上に努める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施　策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化の発信力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,000	8,000

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	6,075

令和6年度活動内容

令和６年度は、県外公演を２公演実施した。

令和7年度活動計画

令和７年度は、県外公演を1公演予定している。

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は予定通り事業を実施し京都市及び金沢市で１公演を開催した。
	1公演	1公演（２公演）	2公演（４公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度は、計画数１公演に対し活動実績が２公演となり、達成割合が100%となった。開催地を文化芸術に理解の深い京都市と金沢市とすることで、京都公演278人、金沢公演1,089人の集客につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 ○　開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 ○　メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	○金沢公演では現地スタッフを手配し、開催地における周知広報活動に力を入れたところ、多くの集客につながった。 ○金沢公演では、石川県の工芸品である能登上布で仕立てた紅型の衣装の解説や、「ティーサージ」の解説など、現地の方に関心を持ってもらえる演出を加えた。 ○開催地のマスコミに対するプレスリリースを行い、現地の新聞に取り上げてもらうことで集客につなげた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
①　県の制度、執行体制（内部要因）	出演者、スタッフアンケートを行ったところ、委託料の予算が少額であるため、出演者や公演内容が限られてしまうとの意見があった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
①　執行体制の改善	公演内容や出演者について、スタッフ等と事前に綿密な調整を行う等により、限られた予算の範囲内でも内容の充実化を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ウ	多元的な交流の推進	施　策	②沖縄の文化を通じた交流
			施策の小項目名	○多様な沖縄の文化の積極的な発信、国内・国外との文化交流
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	県が支援した文化交流イベントの参加者数
施策の方向	・国際的な文化交流イベントの開催や外国人向けの文化観光コンテンツの発信など、県独自の文化プログラムの実施を通じて、多様な沖縄の文化を積極的に発信し、国内・国外との文化交流に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）		
		―	1公演	1公演（2公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—	14,000		

令和6年度活動内容

令和6年度は他事業に統合した。

予算事業名	—			
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
—	—	0		

令和7年度活動計画

令和７年度は他事業で実施予定。

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—	14,000	43,573	

令和6年度活動内容

海外において沖縄の文化芸能に係るイベントを開催する予定だったが現地の山火事の影響により中止となった。

予算事業名	伝統文化活性化事業			
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318		

令和7年度活動計画

国内外における沖縄の伝統文化の認知度向上及び理解を促進する取組を行い、文化芸術関係者の活動機会を確保する。

活動指標名	文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は、現地の方々が参加できるコンテスト形式の舞台とし、交流推進課が実施する「県人会サミット」と連携する形で開催予定であったが、自然災害の影響により中止となった。
	0公演	2公演	0公演（2公演）	１公演（２公演）	0.0%	未着手	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度はロサンゼルスでの開催を予定していたが、現地の山火事の影響により中止となったため、未着手となっているが、令和５年度に２公演実施していることから、累計公演数は目標値を達成している。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 ○　開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 ○　メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	○交流推進課が実施する「県人会サミット」と連携する形で開催することで相乗効果を狙った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自然災害の影響により中止となった。次年度、仕切り直しとしたが、次年度開催に向けた関係者調整など対応を検討する余地があった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	現地の事情により中止となった場合でも、次年度以降の公演が継続できるよう、関係者と連携をとっていく。